

令和4年度

教職課程

自己点検評価報告書

美作大学

令和5年3月

美作大学 教職課程認定学部・学科一覧

- ・生活科学部（食物学科 中・高家庭科1種）
- ・生活科学部（児童学科 幼稚園1種・小学校1種）
- ・生活科学部（社会福祉学科 高福祉科1種）
- ・大学院（生活科学研究科 中・高家庭科専修）
- ・大学院（人間発達学研究科 幼稚園専修・小学校専修）

大学としての全体評価

美作大学は大正4（1915）年に発足した津山高等裁縫学校を始祖とする美作学園が設置する高等教育機関であるが、当時から本学園は小学校裁縫専科正教員を、その後、尋常小学校准教員を養成した歴史を有している。これは、建学の理念に基づき「知識・技能を身に付けた専門性をもった人材育成」を高高等教育機関の使命として標榜していたからである。

昭和42（1967）年に開学した美作大学生活科学部は、令和4（2022）年現在、食物学科、児童学科、社会福祉学科の3学科から構成されている。このうち、食物学科に中学校教諭一種免許状（家庭）ならびに高等学校教諭一種免許状（家庭）、栄養教諭免許状、社会福祉学科に高等学校教諭一種免許状（福祉）があり、児童学科に小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状が取得可能な教職課程が設置されている。また、大学院として生活科学研究科と人間発達学研究科にそれぞれ教職課程が設置され、幼稚園、小学校、中学校・高等学校（家庭）、栄養教諭の専修免許を取得することができる。

本学における教職課程については、学長（副学長（教育））の統督のもと、教務部の下部組織として教職課程センターが設置され、規程に則り、教職課程の改善および円滑な運営にあたっている。同センターは同一法人内の大学、短期大学、大学院の教職課程を統括する形となっている。

教職課程センターは学長指名によるセンター長のもと、教職課程ならびに「教職に関する科目」に係る教育の充実、課程認定の申請、教員免許更新に係る講習の企画・立案などに当たっている。本学における教員養成は、カリキュラムに関しては教務委員会と部科（課）長会議の議を経て教授会が、講師の任免については部科（課）長会議が、教育実習や介護等体験、学外ボランティア、免許取得の手続き等の指導については各学科が議決機関として責任を負う形となっている。また、教職課程センターには運営に関する協議機関として委員会が設置されており、委員会の構成はセンター長（副センター長）をはじめ、教職課程を有する各学科・研究科から委員が選出されている。

大学における教職課程履修者は児童学科の学生が多く、毎年一定数の学生が小学校教諭および幼稚園教諭として就職をしている。また、大学が所在する岡山県内の教育委員会へも同様に一定数が毎年採用されている。教員不足が深刻な問題となっている岡山県北地域

での教員人材を育成することは本学の地域貢献に対する重要な課題であり、現状ではその任を果たしていると自負している。このことを踏まえ、児童学科における教職課程は創立当時から本学園が標榜している「知識・技能を身に付けた専門性をもった人材育成」の実現に寄与していると考えている。

一方で中・高等学校教員免許、栄養教諭免許の教職課程履修者については、今後、教職課程の充実を図る中で、教職課程の履修を希望する学生が増え、教員免許状取得へ至る取り組みを重ねることが重要である。

大学院においては、教員免許をすでに所持している大学院生を対象とする専修免許課程であり、岡山県北部に設置されている高等教育機関で唯一の、より専門性を高める教職課程として、存続を維持することが本学の責務である。

なお、今回の自己点検・評価は一般社団法人「全国私立大学教職課程協会」の「教職課程自己点検評価基準（令和4年度版）」の評価項目を参考に実施している。

美作大学

学長 鵜崎 実